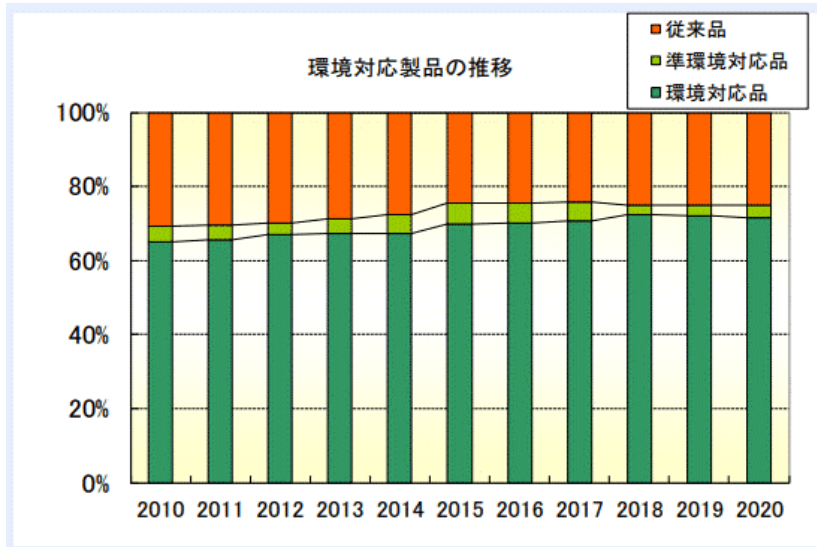
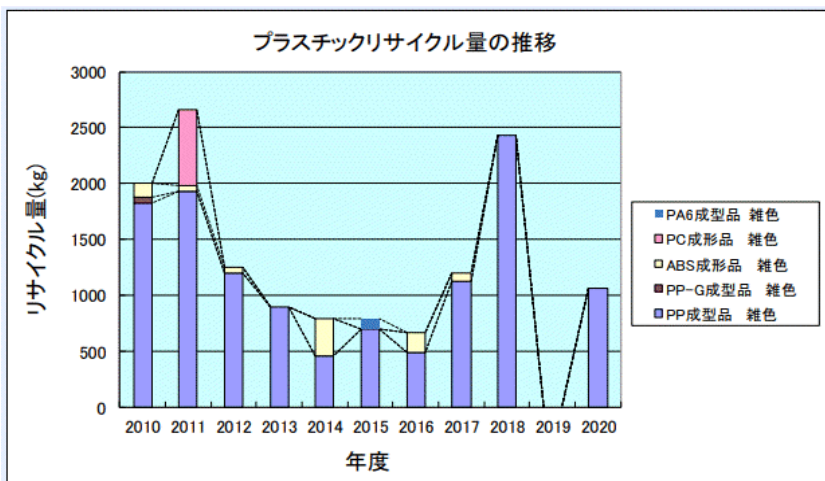


取り組みの紹介（一部抜粋）

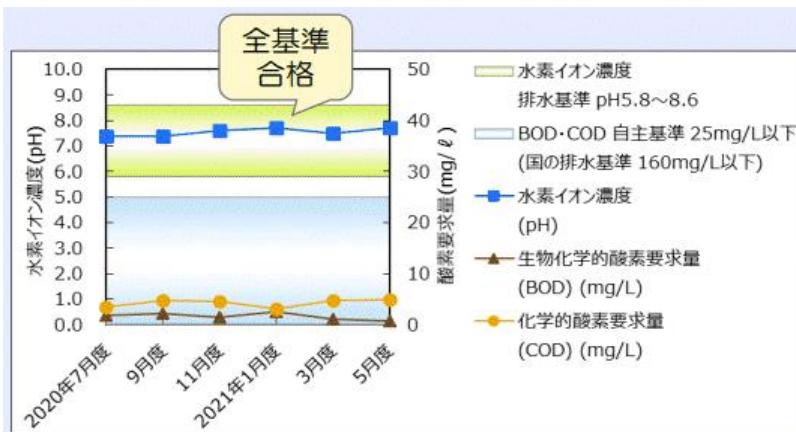
【環境対応商品の推移】



【プラスチックリサイクル量の推移】

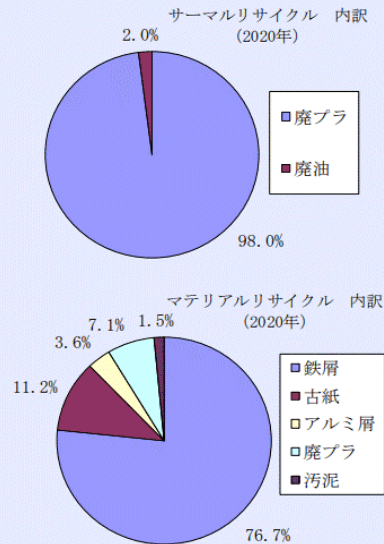
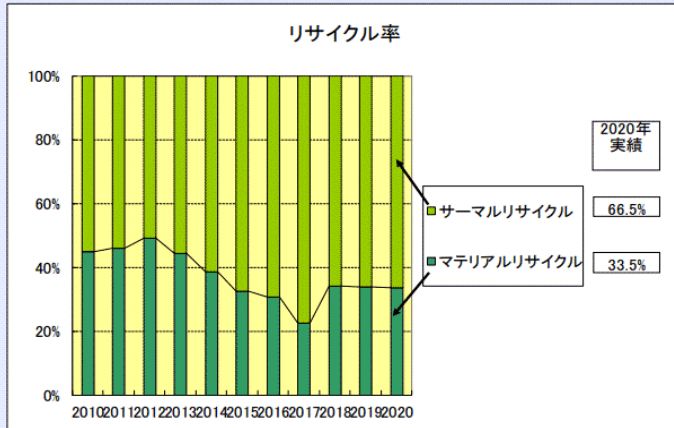


【製造段階における環境配慮（排水）】



【ゼロエミッション】

全ての廃棄物について、
サーマルリサイクル、またはマテリアルリサイクルを行い、
ゼロエミッションを達成しています。



【マテリアルリサイクル（汚泥：塗装前処理水）】

汚泥（塗装前処理水）→社内中間処理（脱水）
→混練造粒→残渣を路盤材に利用（マテリアルリサイクル）



残渣を、
人工骨材・埋め戻し
材として利用

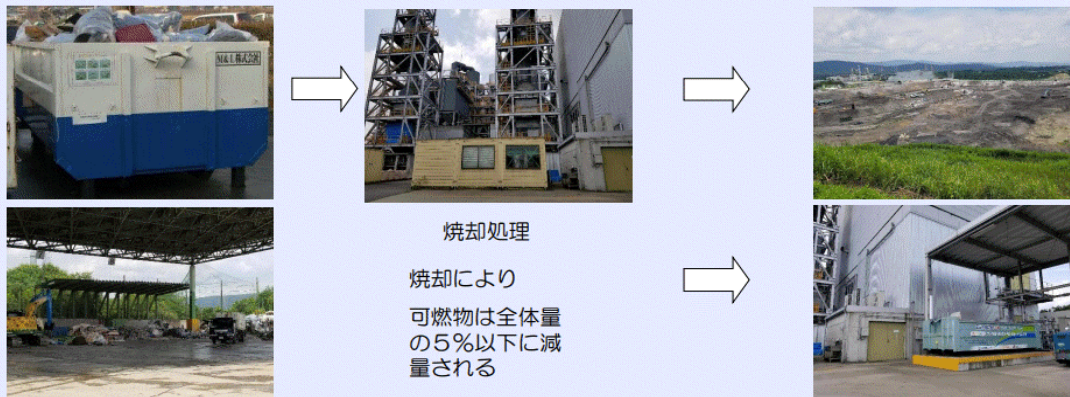
木くず（パレット等）→破碎→パルプ原料などに再利用（マテリアルリサイクル）



チップを、パルプ原料、ボード、燃料
等に再資源化

【マテリアルリサイクル（廃プラスチック混合物）】

廃プラスチック混合物（金属を含むもの） →焼却（サーマルリサイクル） →燃えがら（マテリアルリサイクル）



金属類は選別し、有価物として売却

燃えがらは焙焼炉で無害化処理し、
上層路盤材（アスファルト骨材）として利用

【マテリアルリサイクル（プラスチック）】

硬質プラスチック類→粉碎→ペレット化→樹脂原料として再利用（マテリアルリサイクル）



社内で分別を行い、有価で売却

【サーマルリサイクル（廃プラスチック）】

廃プラスチック→焼却（サーマルリサイクル）



真ん中の箱(コンテナ)



業者で破碎、選別処理(鈴鹿市)



燃料用として、圧縮・梱包(鈴鹿市)

北海道・苫小牧へ運搬し、発電所での燃料として使用（サーマルリサイクル）



・苫小牧発電所

写真は、(株)サニックスHPから引用

【サーマルリサイクル（廃粉体塗料）】

廃粉体塗料：焼却（サーマルリサイクル）



廃油：焼却（サーマルリサイクル）→微量の燃えがら（1%未満）を埋立



【サーマルリサイクル（一般廃棄物）】

＜現状の処理ルート＞ 可燃物（一般廃棄物）→焼却（サーマルリサイクル）



燃焼を24時間監視

燃焼する際のエネルギーで発電している。

